

医療コラム



あまみ皮膚科・形成外科
渋谷 俣織

紫外線によつてできる良性のできものや、皮膚がんなどについてお話ししたいと思います。

まずは日焼けについてお話しします。強い紫外線が皮膚にあたる時、日焼けをして皮膚が赤くなり痛みが出てくる場合がありますよね。これは紫外線による皮膚の細胞が障害を受け、『炎症』というものを引き起こす様々な物質が細胞から放出されることによつて起こります。その結果として皮膚の赤みや痛みを生じ、1週間ほど経つと死んだ皮膚が薄い膜状になつて剥がれ落ちます。その後には色が黒くなるのは、この炎症反応によつてメラニン色素といつものが作られ、皮膚にたまるからなので

「日焼け」って日焼け？シミ？

日差しに関係する赤や黒のシミ、しわの正体について

す。メラニン色素は紫外線をよく吸収するので、次にあたる紫外線に備えて皮膚が身体を守ろうとしてそのよつになりま

す。しかし大事なことは、色が黒くなるのは皮膚が傷害された結果起こる反応だといふことです。色を黒くするために紫

厚くゴワゴワになり、色も濃くなりま

では、紫外線が良く当たる顔や首、頭などには、紫外線が

赤いできものに関しては、紫外線の良

「早めに気づいて治療をすれば完治

奄美といえは美しい海、照りつける太陽というイメージがあると思いますが、みなさん紫外線対策はなさっていますか？

紫外線は夏だけでなく一年を通して地上に降り注いでいて、この紫外線が皮膚に様々な影響を及ぼし、単なるシミから時には皮膚がんの発生につながることもあります。

今回は、日焼けや紫外線による老化、

外線をわざわざ浴びることは、皮膚に余計な傷害を与えることになりま

は年齢と共に身体のさまざまな機能が損なわれていくこと

シミものとして歳をとつてから現れてきま

顔などにできやすい黒い腫瘍の中には、ときに基底細胞

心です。面積が広いものでは塗る薬で治すこともあ

もちろんこういった皮膚の病気を予防するためには、日頃から紫外線予防をすることがとても大切